

主な環境指標の実績について

1. CO₂の排出実績

渇水等による水力発電所の発電電力量減少や需要増による火力発電所の発電電力量増加により、平成19年度のCO₂排出係数は、対前年比で7%増加の0.473kg-CO₂/kWhとなりました。

表 1. CO₂ の排出

		実績	
		2006 年度	2007 年度
CO ₂ 排出原単位	kg-CO ₂ /kWh	0.441	0.473
CO ₂ 排出量	万 t-CO ₂	3,570	3,979
原子力設備利用率	%	49.7	66.3

2. SO_x, NO_x の排出抑制

最新鋭火力発電所の効率的な運用等により近年のSO_x 排出原単位, NO_x原単位は減少傾向にあり, 2007 年度は経年ガス火力の長期計画停止により, SO_x 排出原単位の大きい石油・石炭火力発電所の発電電力量の割合が上昇したものの, 両原単位とも前年度レベルを維持しました。

表 2. SO_x, NO_x の排出

		実績	
		2006 年度	2007 年度
SO _x 排出原単位	g/kWh	0.23	0.25
NO _x 排出原単位	g/kWh	0.32	0.30

3. 廃棄物の有効利用

平成 19 年度は、平成 18 年度に比べ、石炭火力発電所の利用率の上昇に伴い、石炭灰をはじめとした廃棄物発生量が約 7.5 万 t 増加したため、有効利用率は約 6.0 ポイント減少しました。

表 3. 廃棄物の有効利用

		実績	
		2006 年度	2007 年度
廃棄物発生量	万トン	105.5	113.0
有効利用量	万トン	99.7	99.9
有効利用率	%	94.4	88.4
最終処分量	万トン	5.7	12.9

以上